

# 名古屋大学地震火山・防災研究センター2008 年度年次報告会

日時：2009年3月24日（火）9：00-17：30

場所：名古屋大学環境総合館レクチャーホール（環境総合館1階）

9：00 - 9：10 センター長挨拶

9：10 - 10：25 座長 杉本慎吾・宮田皓司

○羽佐田葉子・渡辺俊樹・山岡耕春

「ACROSSによるモニタリングに向けたデータ解析技術の開発」

○渡辺俊樹・山岡耕春・羽佐田葉子・生田領野（静岡大学）・古川俊之・山崎賢志

「弾性波アクロスのこの1年の成果」

○山岡耕春・渡辺俊樹・生田領野（静岡大学）・山崎賢志・道下剛史・鈴木和司（理学部装置開発室）

「マグマ上昇の定量的評価に向けた低周波制御震源システム」

○鷺谷 威

「日本海東縁ひずみ集中帯における稠密GPS観測」

○橋本千尋

「『シミュレーションとモニタリングを統合した地殻活動予測システム』の構築に向けて」

【休憩 20分】

10：45 - 11：45 座長 朝日友香・富永岳志

○田所敬一・渡部 豪・杉本慎吾・奥田 隆・武藤大介・木元章典・宮田皓司

「熊野灘および駿河湾における海底地殻変動観測」

○杉本慎吾・田所敬一・奥田 隆・渡部 豪・武藤大介・木元章典・宮田皓司・

生田領野（静岡大学）・佐柳敬造・長尾年恭（東海大学）

「海中の温度・圧力連続計測を利用した海底地殻変動観測」

○渡部豪・田所敬一・杉本慎吾・奥田隆・武藤大介・木元章典（名古屋大学）・久野正博（三重県科学技術振興センター）

「海底地殻変動観測によるすべり欠損検知能力」

○奥田 隆・伊藤武男・小澤和浩・山本淳平

「南アルプスにおけるGPS観測—上下変動の検出をめざして—」

【昼食休憩 60分】

12：45 - 13：20

ポスター発表（コアタイム）

○小澤和浩

「中部日本地殻変動の運動学的モデリング」

○山本淳平・伊藤武男

「キネマティックGPS を用いた固体地球潮汐応答の時間変化」

○朝日友香

「1891年濃尾地震と1995年兵庫県南部地震の余震変動による中部日本の粘性構造の推定」

○山崎賢志・渡辺俊樹・羽佐田葉子・古川俊之・山岡耕春・中道治久・生田領野（静岡大学理学部地球科学科）

「土岐 ACROSS 信号を用いた愛知県新城市鳳来近傍の地下構造推定に向けた波群の検討」

○岡崎仁一（立命館大理工学部4年生）

「ニュージーランド北島におけるスロースリップとプレート間カップリング」

○小林由実

「野島断層周辺におけるコーダQの時間変化」

○佐々木朋樹・鷺谷 威

「地震サイクルシミュレーションのためのデータ同化 —釜石沖固有地震活動に対する1自由度バネ・ブロックモデルの適用—」

○道下剛史・山岡耕春・渡辺俊樹

「火山活動における人工震源を用いた能動監視の可能性」

13:20 - 14:35 座長 羽佐田葉子・山崎賢志

○飛田 潤

「大都市圏強震動総合観測ネットワーク：2008年度の観測状況とシステム開発」

○木村玲欧

「地域の歴史災害を学び、地域に還元する」防災教育プログラム・教材の開発～防災教育チャレンジプラン優秀賞を受賞して」

○杉戸信彦・鈴木康弘・糸魚川—静岡構造線活断層帯重点的調査観測変動地形グループ

「糸静線活断層帯中南部、富士見町御射山神戸における断層変位地形の発達史」

○石黒聡士・鈴木康弘

「スマトラ沖地震に伴うアンダマン諸島北西端の地震時隆起量」

○山中佳子

「名古屋大学地震観測網の現状と将来」

【休憩 20 分】

14:55 - 15:55 座長 渡部 豪・吉本昌弘

○筒井 稔（京都産業大学 コンピュータ理工学部）・鷺谷 威・山田 守

「美杉・京都の2地点観測による地殻活動に伴う地中電磁波パルスの波源位置特定の現状」

○山崎文人・山田 守

「御嶽山の火山活動と地震活動の推移」

○木股文昭

「永い眠りから覚めて30年を迎える御嶽火山：御嶽火山研究の現状と課題」

○中道治久

「火山で発生する超長周期イベントの震源時間関数について」

【休憩 20 分】

16 : 15 - 17 : 00 座長 杉戸信彦・橋田 悠

○山田 守

「地震予知と共に30数年」

18 : 00 - 20 : 00 送別会兼懇親会 (於 花の木)